

子どもの時期の習い事に対する 青年期の評価

その1 子どもと親の評価の差を中心に

萩原英敏・山内弥子

(2001年10月3日受理)

【キーワード】 子ども, 習い事, 早期教育, 青年期, 評価

1. はじめに

著者らは、1987年、東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県の首都圏の子ども（1～7歳、ただし7歳児は10名のみ）を持つ母親、約1200名に、習い事に関してアンケート調査を行なった。（高橋種昭・萩原英敏ら「現代児童の生活実態に関する研究」日本総合愛育研究所紀要 第23集 1987）それは当時から、明確な指導プログラムに基づき、指導者が学校教育の先取りの内容を扱った教材を、子どもに与え指導するような、いわゆる早期教育や、昔からなされている、おけいこ事に、多くの子どもが通っていると予想されていたからである。そこで、（イ）どのような習い事をやっているか？ （ロ）習い事をやって、良い点、悪い点はどのような事か？ などを中心に、母親に回答してもらったら、表1～4や、図1のような結果が得られた。

表1 習い事の有無

習い事	N	%
通わせている	412	34.1
通わせていない	756	62.5
不明	41	3.4

図1 習い事の内容・種類の割合（性別）

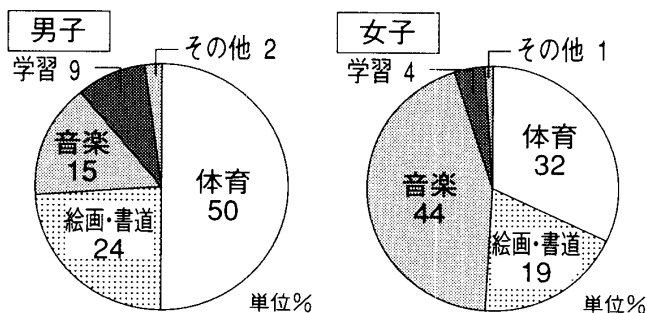


表2 習い事の内容・種類 (性別)

		習い事の内容の差 P<0.01														習い事の差 有無の差 P<0.01		
性別	内容 種類	運 動					おけいこ (情操)					知 育				習い事をやっている人の数	習い事をやっていない人の数	
		スイミングスクール	体操クラブ	サッカークラブ	武 道	その他のスポーツ	小 計	音楽教室	絵画教室	習 字	舞 踊	小 計	幼児教育	塾	英語教室			小 計
男		65	31	12	2	0	110	41	12	7	3	63	6	19	9	34	162	379
女		53	22	0	1	0	76	147	22	24	24	217	7	12	8	27	241	397
女兒全体に対する%		8.3	3.4					23.0	3.4	3.8	3.8		1.1	1.9	1.3			

表3 習い事に通わせて良い点

内容 種類	通わせて良い点	健康効果	運動効果	音楽効果	言語・文字効果	絵画効果	受験効果	行儀・しつけ	社会性が育つ	好奇心・創造性が育つ	積極性が育つ	集中力が育つ	性格が変化する	忍耐力が育つ	その他	不明
		習い事の内容の差 P<0.01	運 動	スイミングスクール	61	8	0	0	0	0	12	1	3	0	5	4
体操クラブ	10			19	0	0	0	2	4	0	3	2	8	0	6	4
サッカークラブ	2			2	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	3
武 道	1			0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	1
その他のスポーツ	1			0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0
小 計	75			29	0	0	0	6	20	1	6	2	15	5	32	16
おけいこ (情操)	音楽教室	0	3	130	0	0	0	9	2	6	8	4	5	11	29	
	絵画教室	0	0	4	0	12	0	2	3	0	0	1	0	2	12	
	習 字	0	0	0	19	0	0	1	3	0	0	5	1	0	3	
	舞 踊	2	8	9	0	0	0	1	0	0	1	2	1	5	4	
	小 計	2	11	143	19	12	0	1	15	5	6	14	8	6	20	48
知 育	幼児教育	0	0	0	2	0	1	0	5	0	1	1	0	0	3	2
	塾	0	0	0	2	0	11	1	2	1	5	6	2	0	5	
	英語教室	0	0	0	3	0	0	0	4	1	2	0	0	0	1	6
	小 計	0	0	0	7	0	12	1	11	2	8	7	2	0	4	13

表4 習い事に通わせて悪い点

内容	種類	通わせて悪い点											
		効果がない	心身に悪影響	性格上好ましくない	悪い癖がつく	動機が低下する	親の扱いが悪くなる	マンネリ化	生活時間上問題である	親の自由な時間がない	その他	特になし	
習い事の内容の差 N・S	運動	スイミングスクール	0	14	1	0	3	0	0	6	1	0	59
		体操クラブ	1	2	0	1	1	0	0	0	1	1	34
		サッカークラブ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
		武道	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		その他のスポーツ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	1	17	1	1	4	0	0	7	2	1	101
	おけいこ (情操)	音楽教室	0	5	4	2	9	2	1	10	0	3	110
		絵画教室	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	18
		習字	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1	15
		舞踊	0	3	0	0	1	0	1	0	0	1	14
		小計	1	13	4	2	10	2	2	10	0	6	157
知育	幼児教育	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	塾	1	2	0	2	1	0	0	3	0	0	14	
	英語教室	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	10	
	小計	2	5	1	2	1	0	1	4	0	0	27	

ここで明らかになった事は、①34.1%の子ども（3分の1強）が、習い事に通っている事。②その内容は、スイミング、体操などの運動系、音楽教室、絵画教室などの情操教育に重きを置いたもの、英語や塾など知育を重視したものである。また③母親が習わせて良いと思っているのは、各技術面の効果や、社会性、集中力などが育つなどであり、一方習わせて悪いと思っているのは、心身に悪影響があるなどであった。そこで、1987年から14年経た今日、たとえ対象者が同一人でなくても同じ首都圏で当時5才（対象児の32.5%を占め、一番多い年齢）だった子どもが、現在19歳になっている計算である。この現在青年期に達している者達が、自分が実際通った習い事を、どう評価しているのかを調べる事によって、子どもの時期の習い事の発達の意味や、習い事への母親の期待と実際の効果のギャップなどを見る事ができる。本研究は、このように、子ども時期の習い事の意味を明確にする事を目的としたものである。これはまたとりも直さず、「どのような教科でも、そのままの形で、発達のどの年齢のどの子どもに対して教えることが出来る」とした、J. S. ブルーナーの反レディネス論に端を発した、早期教育の意味についても、明らかにする事が出来る。なお、今回は、その1という事で、評価の実態だけを報告し、次回に、項目間の関係をみたものを報告する。

II. 方法

1. 対象者

本学児童福祉コース2年生	213名	(女子)	
傘下専門学校幼児教育コース2年生	244名	(女子)	31名 (男子)
計	457名	(女子)	31名 (男子)

(1987年対象者と同じで、東京都、千葉県、神奈川県、
埼玉県の首都圏出身者が多い)

以上の通り、今回の対象者は、将来保育士の資格を持ちたいという学生なので、必然的に女子が大多数を占めた。その為、男子のデータは少数がゆえ、比較検討する資料となりえず、一部を除いて、女子のみの資料を比較検討することにした。

また、横山さつきらは「保育系学生における早期教育に関する意識について—英文科学生および母親との比較を通して—」(日本保育学会第49回大会 1996年)において、「保育系の学生は、英文科学生や、母親より、早期教育に否定的に考える傾向にある。」という結果を報告している。そこで今回の対象者がこの様な傾向を持っている事を、結果を考察する時点では考える必要がある。

2. アンケート調査

資料1に示している通りである。1987年の調査結果—以下は(前)と略す—を参考に、①ピアノなどの音楽教室、スイミングスクール、体操教室、絵画教室、学習塾などについて、通ったかどうか。②その影響度(技術面などのプラス面や、神経質になるなど心身へのマイナスの影響)。③将来自分の子どもに習わせたいかどうか。などについて、67項目について調べた。

3. 調査時期 2001年4月

III. 結果と考察

Q1. あなたは、ピアノかエレクトーンを、教室に通い、習いましたか?

表5

		はい	はい	N.A.
男	N	8	23	—
	%	25.8	74.2	—
女	N	314	142	1
	%	68.7	31.1	0.2
全体	N	322	165	1
	%	66.0	33.8	0.2

表5のように、女子の68.7%の者が、ピアノ等の音楽教室に通っている。これは(前)の23%の3倍多い数であるが、今回は年齢幅が大きい事、保育士志向の対象者などが、影響しているものと考えられる。この事は、次のQ1-2の結果で明らかになる。

Q1-2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表6

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
男	N	—	6	2	—	23
	%	—	19.4	6.5	—	74.2
女	N	29	188	70	27	143
	%	6.3	41.1	15.3	5.9	31.3
全体	N	29	194	72	27	166
	%	5.9	39.8	14.8	5.5	34.0
通う女子での割合	%	9.2	59.9	22.3	8.6	

表6の下の、通う女子での割合—以下は(通)と略す—でみると、4～6歳が59.9%で、次が7～9歳が22.3%となり、1～3歳、10～12歳は10%未満とな

っている。(前)の結果の対象児を大体6歳までと考えると、今回の結果は、その年齢までの時期に、大体7割の子どもが、習い初めている。そこで習っている者の全体への割合68.7%の大体7割、47.5%が、大体6歳までに、習い初めている事になる。この値を、(前)の結果23%と比較すると、約2倍になり、この結果は、保育士志向の学生を対象とした為だと考えられる。すなわち、保育士志向の学生は、幼い時から、音楽に、本人から志向する傾向を持っているか、また囲りから志向させられる傾向を持っているという事が考えられる。だが、他の習い事でも、(前)の結果より、今回の結果で、通った者が多く出ているのを考えると、保育士が対象者だった事のみでなく、この種の調査は親が実際より寡少の報告をしているのではないか。その結果が(前)の結果の低さに影響しているとも考えられる。

Q1-3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表7

		自分がやりたかった	親のすすめで	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
男	N	4	4	—	—	—	23
	%	12.9	12.9	—	—	—	74.2
女	N	128	89	59	25	13	143
	%	28.0	19.5	12.9	5.5	2.8	31.3
全体	N	132	93	59	25	13	166
	%	27.0	19.1	12.1	5.1	2.7	34.0
(通)	%	40.8	28.3	18.8	8.0	4.1	

表7の(通)でみると、自分がやりたかったが、40%強で一番多く、次に親のすすめで、きょうだいやっていた、友達がやっていた、の順の動機になっている。

Q1-4. a. 習った事の影響－技術に関して－

表8

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	1	4	—	—	3	23
	%	3.2	12.9	—	—	9.7	74.2
女	N	91	159	2	2	60	143
	%	19.9	34.8	0.4	0.4	13.1	31.3
全体	N	92	163	2	2	63	166
	%	18.9	33.4	0.4	0.4	12.9	34.0
(通)	%	29.0	50.6	0.6	0.6	19.1	

表8の(通)でみると、やや好影響が約半数の50.6%、非常に好影響が29.0%と、ポジティブに考えている者が、80%弱にのぼっている。これとは逆に悪影響と、ネガティブに考えているのは、やや、非常にの両方合わせても1.2%しかいない。ただ影響無しと答えたのが19.1%と、約5人に1人を占める。これを(前)の結果と関連させて考えると、子どもを音楽教室に通わせている母親147名中、140名(95.2%)の者が、音楽効果有りと考えていた。しかし実際、子ども自身が好影響有りと答えたのは80%弱で、親の期待度が15%程度高くなっていた事が明らかになった。

Q1-4. b. 習った事の影響－好きになる事に関して－

表9

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	2	2	—	—	4	23
	%	6.5	6.5	—	—	12.9	74.2
女	N	77	145	35	1	56	143
	%	16.8	31.7	7.7	0.2	12.3	31.3
全体	N	79	147	35	1	60	166
	%	16.2	30.1	7.2	0.2	12.3	34.0
(通)	%	24.5	46.2	11.1	0.3	17.8	

表9の(通)でみると、やや好影響が46.2%、非常に好影響が24.5%で、ポジティブに考えている者が、70%強にのぼっているが、前問の技術に対する評価より、この好きになる評価が、約10%劣っている。これは技術面の好影響は認めるものの、それ程好きにはなれていないという事を示すものである。この事が、やや悪影響の11.1%に反映されており、約10人に1人が、悪影響を受けている事になる。

Q1-4. c. 習った事の影響－感情が豊かになる事に関して－

表10

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	1	1	—	—	6	23
	%	3.2	3.2	—	—	19.4	74.2
女	N	50	144	5	2	113	143
	%	10.9	31.5	1.1	0.4	24.7	31.3
全体	N	51	145	5	2	119	166
	%	10.5	29.7	1.0	0.4	24.4	34.0
(通)	%	15.9	45.9	1.6	0.6	36.0	

表10の(通)でみると、やや好影響が45.9%、非常に好影響が15.9%で、ポジティブに考えている者が、60%強にのぼっている。悪影響だとネガティブに考えている者は少ないが、36% (3人に1人強)の者が、影響無しと答えており、この者達への情操教育の効果はあまり上がっていないと考えられる。

Q1-4. d. 習ったことの影響－集中力がつく事に関して－

表11

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	1	2	—	—	5	23
	%	3.2	6.5	—	—	16.1	74.2
女	N	25	138	8	—	143	143
	%	5.5	30.2	1.8	—	31.2	31.2
全体	N	26	140	8	—	148	166
	%	5.3	28.7	1.8	—	30.3	34.0
(通)	%	8.0	43.9	2.5	—	45.5	

表11の(通)でみると、やや好影響が43.9%、非常に好影響が8%で、ポジティブに考えているのが、50%強 (2人に1人強)にのぼっている。(前)の結果だと、この集中力が育つには、子どもを音楽教室に通わせている母親147名中、8名(5.4%)の者しか効果を認めておらず、この親子の評価の差は非常に大きい。これは親の音楽効果を期待するものの中に、可成集中力を必要とするものが含まれていると考えられる。また音楽教室は集中力を育てると共に、子どもに可成の集中力を要求しているという事を示すものである。

Q1-4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表12

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常におお らかになった	影響無し	N.A.
男	N	—	1	—	—	7	23
	%	—	3.2	—	—	22.6	74.2
女	N	5	55	24	2	228	143
	%	1.1	12.0	5.3	0.4	49.9	31.3
全体	N	5	56	24	2	235	166
	%	1.0	11.5	4.9	0.4	48.2	34.0
(通)	%	1.6	17.5	7.6	0.6	72.6	

表12の(通)で見ると、やや神経質になったが17.5%、非常に神経質になったが1.6%で、19.1% (5人に1人弱)の割合で、習う事で神経質になっている事がわかる。(前)の結果で、音楽教室に通う事で、心身に悪影響と答えている母親が、147名中、5名(3.4%)という事を考えると、質問内容が少し違う事を考慮しても、母親が考えている以上に、子どもを神経質にさせている事がわかる。

Q1-4. f. 習った事の影響－仲間などの対人関係に関して－

表13

		今でも仲間作り が非常に下手	仲間作りが やや下手	仲間作りに 余り苦労しない	仲間作りに 全然苦労しない	影響無し	N.A.
男	N	—	1	2	—	5	23
	%	—	3.2	6.5	—	16.1	74.2
女	N	2	30	52	28	202	143
	%	0.4	6.6	11.4	6.1	44.2	31.3
全体	N	2	31	54	28	207	166
	%	0.4	6.4	11.4	6.1	42.4	34.0
(通)	%	0.6	10.0	16.6	8.9	64.3	

表13の(通)で見ると、仲間作りがやや下手が10%、非常に下手が0.6%で、約10%の者が、仲間作りが下手だが、他の90%の者は、特に問題を感じる状態にはなっていない。(前)の結果で、音楽教室に通う事で147名中、9名(6.1%)の母親が、社会性が育つと期待していたが、今回の結果から見ると、教室で仲間が出来るなどで、それ以上に社会性が育っている様である。

Q 1 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表14

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	4	2	2	23
	%	12.9	6.5	6.5	74.2
女	N	143	10	161	143
	%	31.3	2.1	35.2	31.3
全体	N	147	12	163	166
	%	30.1	2.5	33.4	34.0
(通)	%	45.5	3.2	51.3	

表14の(通)で見ると、はいが45.5%で半数弱、わからないが51.3%で半数強になっている。いいえと否定的にとらえている者は少ない。

Q 1 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表15

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	4	2	2	23
	%	12.9	6.5	6.5	74.2
女	N	41	83	190	143
	%	9.0	18.2	41.6	31.3
全体	N	45	85	192	166
	%	9.2	17.4	39.3	34.0
(通)	%	13.1	26.4	60.5	

表15の(通)で見ると、はいが13.1%に対して、いいえが、その約2倍の26.4%となっている。これは前問の女の子の場合と全く逆の結果で、音楽系に通わせる意識は、性差によって明確に異なる事がわかる。

Q 2. あなたは、スイミング教室に通い、泳ぎを習いましたか？

表16

		はい	いいえ	N.A.
男	N	16	15	—
	%	51.6	48.4	—
女	N	250	206	1
	%	54.7	45.1	0.2
全体	N	266	221	1
	%	54.5	45.3	0.2

表16のように、女の子の54.7%の者が、スイミング教室に通っている。2人に1人以上通っている事になる。これは(前)の8.3%の6.6倍多い数である。これもQ1の時と同じように、今回は年齢幅が大きい事、保育士志向の対象者である事、また(前)の調査において、親が実際より寡少の報告をしていた為などの結果と考えられる。

Q2-2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表17

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
男	N	—	6	7	3	15
	%	—	19.4	22.6	9.7	48.4
女	N	25	99	102	24	207
	%	5.5	21.7	22.3	5.3	45.3
全体	N	25	105	109	27	222
	%	5.1	21.5	22.3	5.5	45.5
(通)	%	10.0	39.6	40.8	9.6	

表17の(通)で見ると、7～9歳が40.8%と一番多く、次が4～6歳の39.6%で、1～3歳、10～12歳は両方とも10%前後と少ない。(前)の結果の対象児を

大体6歳までと考えると、今回の結果は、その年齢までの時期に大体5割の子どもが習い始めている。そこで習っている者の全体への割合54.7%の大体5割、27.1%の者が、大体6歳までに習い始めている事になる。この値を、(前)の結果8.3%と比較すると、約3.3倍となり、この結果の背景の1つに保育士志向の学生を対象とした為だと考えられる。この事から、保育士志向の学生は、幼い時から、スイミングに、本人から志向する傾向を持っているか、また囲りから志向させられる傾向を持っている事が考えられる。

Q2-3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表18

		自分がやりたかった	親のすすめ	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
男	N	4	6	1	2	3	15
	%	12.9	19.4	3.2	6.5	9.7	48.4
女	N	85	83	34	34	14	207
	%	18.6	18.2	7.4	7.4	3.1	45.3
全体	N	89	89	35	36	17	222
	%	18.2	18.2	7.2	7.4	3.5	45.5
(通)	%	34.0	33.2	13.6	13.6	5.6	

表18の(通)で見ると、自分がやりたかったと、親のすすめで、がほとんど同じで、両方、3人に1人の割合になっている。他の原因で習うようになった者が、残りの1人になっている。

Q 2 - 4 . a . 習った事の影響－技術に関して－

表19

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	8	4	1	—	3	15
	%	25.8	12.9	3.2	—	9.7	48.4
女	N	87	122	2	—	39	207
	%	19.0	26.7	0.4	—	8.5	45.3
全体	N	95	126	3	—	42	222
	%	19.5	25.8	0.6	—	8.6	45.5
(通)	%	34.8	48.8	0.8	—	15.6	

表19の(通)でみると、やや好影響が48.8%、非常に好影響が34.8%で、ポジティブに考えている者が83.6%に及び、やや悪影響は0.8%しかいなかった。また影響無しが15.6%で10人中1～2名存在していた。

。 2 - 4 . b . 習った事の影響－好きになる事に関して－

表20

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	6	5	2	1	2	15
	%	19.4	16.1	6.5	3.2	6.5	48.4
女	N	88	106	10	1	45	207
	%	19.3	23.2	2.2	0.2	9.8	45.3
全体	N	94	111	12	2	47	222
	%	19.3	22.7	2.5	0.4	9.6	45.5
(通)	%	35.2	42.4	4.0	0.4	18.0	

表20の(通)でみると、やや好影響が42.4%、非常に好影響が35.2%で、ポジティブに考えているのが77.6%であった。またやや悪影響が4.0%、非常に悪影響は0.4%で、4.4%の者が、ネガティブに考えていた。また影響無しが18%に及んだ。前問の技術への影響より、この好きになる事に関しては、ネガティブに考える者が多かった。これは音楽系でみられたものと同じ傾向を持っていた。

Q 2 - 4. c. 習った事の影響－身体が健康になる事に関して－

表21

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N. A.
男	N	7	5	—	—	4	15
	%	22.6	16.1	—	—	12.9	48.4
女	N	71	99	4	1	75	207
	%	15.5	21.7	0.9	0.2	16.4	45.3
全体	N	78	104	4	1	79	222
	%	16.0	21.3	0.8	0.2	16.2	45.5
(通)	%	28.4	39.6	1.6	0.4	30.0	

表21の(通)でみると、やや好影響が39.6%で一番多く、次が非常に好影響の28.4%で、ポジティブに考えているのが68.0%いた。一方ネガティブに考えているのは2.0%で少数であったが、影響無しが30% (10人に3人) いた。これを(前)の結果と関連させて考えると、スイミングスクールの健康効果を、118名中、61名(51.7%)の母親があげている。今回の結果は、この値よりやや高いが、親の期待と、子どもの評価に、それ程差がないといえるであろう。

Q 2 - 4. d. 習った事の影響－集中力がつく事に関して－

表22

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N. A.
男	N	1	9	—	—	6	15
	%	3.2	29.0	—	—	19.4	48.4
女	N	13	73	—	—	164	207
	%	2.8	16.0	—	—	35.9	45.3
全体	N	14	82	—	—	170	222
	%	2.9	16.8	—	—	34.8	45.5
(通)	%	5.2	29.2	—	—	65.6	

表22の(通)でみると、やや好影響が29.2%、非常に好影響が5.2%で、ポジティブに考えているのが34.4% (3人に1人強) いた。一方ネガティブに考えているのは全然いないが、影響無しが65.6% (3人に2人弱) と一番多かった。これを(前)の結果と比較してみると、スイミングスクールに通わせている母親の誰もが集中力が育つと考えていないのに、子どもの3人に1人は、集中力が育つと評価しており、この認識の差は大きい。

Q 2 - 4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表23

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常に おおらかになった	影響無し	N.A.
男	N	1	3	—	—	12	15
	%	3.2	9.7	—	—	38.7	48.4
女	N	1	17	8	1	223	207
	%	0.2	3.7	1.8	0.2	48.8	45.3
全体	N	2	20	8	1	235	222
	%	0.4	4.1	1.6	0.2	48.2	45.5
(通)	%	0.4	6.8	3.2	0.4	89.2	

表23の(通)でみると、やや神経質になったが6.8%、非常に神経質になったが0.4%で、ネガティブに考えているのは7.2%であった。一方おおらかになったとポジティブに考えているのは、3.6%で、89.2%の者が、影響無しと答えている。これを(前)の結果と関連してみると、少し言葉の違いはあるが、スイミングスクールに通わせている母親118名中、14名(11.8%)が、心身に悪影響があると思っている。今回の結果は、この値をやや下まわっていて、子どもはそれ程、神経質にはなっていない事がわかる。

Q 2 - 4. f. 習った事の影響－仲間などの対人関係に関して－

表24

		今でも仲間作り が非常に下手	仲間作りが やや下手	仲間作りに 余り苦労しない	仲間作りに 全然苦労しない	影響無し	N.A.
男	N	—	3	2	1	10	15
	%	—	9.7	6.5	3.2	32.3	48.4
女	N	2	21	39	17	171	207
	%	0.4	4.6	8.5	3.7	37.4	45.3
全体	N	2	24	41	18	181	222
	%	0.4	4.8	8.4	3.7	37.1	45.5
(通)	%	0.8	8.4	15.6	6.8	68.4	

表24の(通)でみると、仲間作りがやや下手が8.4%、非常に下手が0.8%で、ネガティブに考えている人は、9.2%であった。一方、仲間作りに余り苦労しないが15.6%、全然苦労しないが6.8%で、ポジティブに考えている人は、22.4%で、5人に1人強の人がプラスの影響を持っていると考えていた。また影響無しが68.4%にのぼった。この結果を(前)と関連して見ていくと、スイミングスクールに通わせている母親118名中、12名(10.2%)が、社会性が育つと考えている。今回の結果は、母親の期待値の2倍以上の値を示しており、音楽系と同じく、スイミングスクールに通い、仲間が出来る事で、社会性が育つ事を示している。

Q 2 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表25

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	4	4	8	15
	%	12.9	12.9	25.8	48.4
女	N	99	9	142	207
	%	21.7	2.0	31.1	45.3
全体	N	103	13	150	222
	%	21.1	2.7	30.7	45.5
(通)	%	39.6	3.6	56.8	

表25の(通)でみると、はいが39.6%で10人中4人弱で、わからないが56.8%で半数以上になっている。いいえは3.6%で少ない。

Q 2 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表26

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	6	3	7	15
	%	19.4	9.7	22.6	48.4
女	N	111	8	131	207
	%	24.3	1.8	28.7	45.3
全体	N	117	11	138	222
	%	24.0	2.3	28.3	45.5
(通)	%	44.4	3.2	52.4	

表26の(通)でみると、はいが44.4%で10人中4人強で、わからないが52.4%で半数以上になっている。いいえは3.2%で少ない。女子と比べると、ややはいの値が高くなっているが、音楽系でみられた様な性差はない。

Q 3. あなたは、体操教室か、踊りのバレエ教室に、通った事がありますか？

表27

		はい	いいえ	N.A.
男	N	1	30	—
	%	3.2	96.8	—
女	N	65	391	1
	%	14.2	85.6	0.2
全体	N	66	421	1
	%	13.5	86.3	0.2

表27のように、女子の14.2%の者が、体操教室や、踊りのバレエに通っている。これは(前)の3.4%の4.2倍ぐらいになっている。これもQ 1・2と同じように、今回の年齢幅が大きい事、保育士志向の対象者である事、また(前)の調査において、親が実際より寡少の報告をしていた為などの結果と考えられる。

Q 3 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表28

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
男	N	—	1	—	—	30
	%	—	3.2	—	—	96.8
女	N	10	32	18	5	392
	%	2.2	7.0	3.9	1.1	85.8
全体	N	10	33	18	5	422
	%	2.0	6.8	3.7	1.0	86.5
(通)	%	15.4	49.2	27.7	7.7	

表28の(通)で見ると、4～6歳が一番多い49.2%で半数近くにのぼり、次が7～9歳の27.7%、1～3歳が15.4%、10～12歳が7.7%となっている。(前)

の結果の対象児を大体6歳までと考えると、今回の結果は、その年齢までの時期に64.6% (大体3人に2人)の者が習い始めている。そこで習っている者の全体への割合14.2%の64.6%は9.2%となる。この値を、(前)の結果3.4%と比較すると、約2.7倍となり、保育士志向を対象にした為なのか、(前)の調査において、親が実際より寡少の報告をしていた為などかによって、この様な結果が出たと考えられる。

Q 3 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表29

		自分がやりたかった	親のすすめで	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
男	N	—	1	—	—	—	30
	%	—	3.1	—	—	—	96.8
女	N	21	23	8	8	5	392
	%	4.6	5.0	1.8	1.8	1.1	85.8
全体	N	21	24	8	8	5	422
	%	4.3	4.9	1.6	1.6	1.0	86.5
(通)	%	32.3	35.4	12.3	12.3	7.7	

表29の(通)で見ると、親のすすめでと、自分がやりたかったが、両方とも大体3人に1人の割合になっている。他の原因で習うようになった者が、残り1人になっている。この結果は、Q 2 - 3のスイミングスクールの結果に似ている。

Q 3 - 4. a. 習った事の影響－技術に関して－

表30

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N. A.
男	N	—	1	—	—	—	30
	%	—	3.2	—	—	—	96.8
女	N	18	21	—	—	26	392
	%	3.9	4.6	—	—	5.7	85.8
全体	N	18	22	—	—	26	422
	%	3.7	4.5	—	—	5.3	86.5
(通)	%	27.7	32.3	—	—	40.0	

表30の(通)で見ると、やや好影響が32.3%、非常に好影響が27.7%と、ポジティブに考えている者が、60%にのぼっている。これとは逆に悪影響とネガティブに考えているのは、全然いない。だが影響無しと答えたのは40%にのぼっている。これを(前)の結果と関連させて考えると、子どもを体操クラブに通わせた53名中、19名(35.8%)が運動効果をあげている。今回の結果は、この値よりも高くなっていて、親の期待より、子どもの方が高い評価をしている事がわかる。

Q 3 - 4. b. 習った事の影響－好きになる事に関して－

表31

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N. A.
男	N	—	1	—	—	—	30
	%	—	3.2	—	—	—	96.8
女	N	15	30	—	1	19	392
	%	3.3	6.6	—	0.2	4.2	85.8
全体	N	15	31	—	1	19	422
	%	3.3	6.4	—	0.2	3.9	86.5
(通)	%	23.1	46.2	—	0.2	29.2	

表31の(通)で見ると、やや好影響が46.2%、非常に好影響が23.1%と、ポジティブに考えている者が、69.3%にのぼっている。一方ネガティブに考えているのは、0.2%で1人しかいない。だが影響無しと答えたのは29.2%にのぼっている。以上の結果を前問の技術への影響と比較すると、ポジティブに考える者が多かった。これは、音楽系やスイミングとは逆の結果であった。

Q 3 - 4. c. 習った事の影響 - 身体が健康になる事に関して -

表32

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	1	—	—	—	30
	%	—	3.2	—	—	—	96.8
女	N	13	26	—	—	26	392
	%	2.8	5.7	—	—	5.7	85.8
全体	N	13	27	—	—	26	422
	%	2.7	5.5	—	—	5.3	86.5
(通)	%	20.0	40.0	—	—	40.0	

表32の(通)でみると、やや好影響が40%、非常に好影響が20%と、ポジティブに考えている者が60% (10人中6人) にのぼっている。一方ネガティブに考えているのは全然いない。だが影響無しと答えた者が40%おり、10人に4人の割合である。これを(前)の結果と比較してみると、体操クラブに通わせている母親の53名中、10名(18.9%)の母親が健康への効果を期待していたが、今回はその約3倍の高い評価を下しており、母親が考えている以上に、子どもは習った事で、身体が健康になったと考えている様である。

Q 3 - 4. d. 習った事の影響 - 集中力がつく事に関して -

表33

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	1	30
	%	—	—	—	—	3.2	96.8
女	N	8	25	—	—	32	392
	%	1.8	5.5	—	—	7.0	85.8
全体	N	8	25	—	—	33	422
	%	1.6	5.1	—	—	6.8	86.5
(通)	%	12.3	38.5	—	—	49.2	

表33の(通)でみると、やや好影響が38.5%、非常に好影響が12.3%と、ポジティブに考えている者が50.8% (2人に1人強) にのぼっている。一方ネガティブに考えているのは全然いない。だが影響無しと答えた者が49.2%で過半数に近い。これを(前)の結果と比較してみると、体操クラブに通わせている母親の53名中、2名(3.8%)の母親が集中力がつくと期待していたが、今回はその約13倍ぐらゐの高い評価を下しており、母親が考えている以上に、子どもは習った事で、集中力はついたと考えている様である。

Q 3-4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表34

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常におお らかになった	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	1	30
	%	—	—	—	—	3.2	96.8
女	N	3	5	6	2	49	392
	%	0.7	1.1	1.3	0.4	10.7	85.8
全体	N	3	5	6	2	50	422
	%	0.7	1.1	1.2	0.4	10.2	86.5
(通)	%	4.6	7.7	9.2	3.1	75.4	

表34の(通)でみると、やや神経質になったが7.7%、非常に神経質になったが4.6%と、ネガティブに考える者が12.3% (10人中1人強)であった。一方、逆におおらかになったが9.2%、非常におおらかになったが3.1%と、ポジティブに考える者が12.3%で、ポジティブ、ネガティブに考えている者の数は同じであった。一方、75.4%の者が影響無しと答えた。これを(前)の結果と比較してみると、体操クラブに通わせている母親の53名中、2名(3.8%)の母親が、心身に悪影響すると考えている。今回の結果は、3倍強のマイナスの影響を子ども側は感じている事になっている。

Q 3-4. f. 習った事の影響－仲間などの対人関係に関して－

表35

		今でも仲間作り が非常に下手	仲間作りが やや下手	仲間作りに 余り苦労しない	仲間作りに 全然苦労しない	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	1	30
	%	—	—	—	—	3.2	96.8
女	N	—	7	10	8	40	392
	%	—	1.5	2.2	1.8	8.8	85.8
全体	N	—	7	10	8	41	422
	%	—	1.4	2.0	1.6	8.4	86.5
(通)	%	—	10.8	15.4	12.3	61.5	

表35の(通)でみると、仲間作りに余り苦労しないが15.4%、全然苦労しないが12.3%と、ポジティブに考えているものが、27.7%いた。一方、仲間作りがやや下手とネガティブに考える者が10.8% (10人に1人強)いた。また61.5%の者が影響無しと答えた。これを(前)の結果と比較してみると、体操クラブに通わせている母親の53名中、4名(7.5%)の母親が、社会性が育つと答えている。今回の結果は、4倍弱のプラスの影響を子ども側は感じている事になる。

Q 3 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表36

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	—	—	1	30
	%	—	—	3.2	96.8
女	N	24	3	38	392
	%	5.3	0.7	8.3	85.8
全体	N	24	3	39	422
	%	4.9	0.6	8.0	86.5
(通)	%	36.9	4.6	58.5	

表36の(通)でみると、はいが36.9%で10人中4人弱で、いいえが4.6%で20人中1人弱になっている。わからないが58.5%で、半数以上になっている。

Q 3 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表37

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	—	—	1	30
	%	—	—	3.2	96.8
女	N	9	13	45	392
	%	2.0	2.8	9.8	85.8
全体	N	9	13	46	422
	%	1.8	2.7	9.4	86.5
(通)	%	13.8	20.0	69.2	

表37の(通)でみると、はいが13.8%に比べて、いいえが20% (5人に1人)と、女の子とは逆に、いいえが多くなっている。わからないが69.2%で、7割近くにのぼる。

Q 4. あなたは、絵画教室に通い、絵画などを習いましたか？

表38

		はい	いいえ	N.A.
男	N	—	31	—
	%	—	100	—
女	N	23	429	5
	%	5.0	93.9	1.1
全体	N	23	460	5
	%	4.7	94.3	1.0

表38のように、女子の5% (20人に1人)の者が、絵画教室に通っている。これは(前)の3.4%より少し大きい値だが、かなり近いものになっている。今回質問した習い事の種類では、一番通った者の数が少ない。

Q 4 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表39

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
男	N	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	100
女	N	2	8	11	2	434
	%	0.4	1.8	2.4	0.4	95.0
全体	N	2	8	11	2	465
	%	0.4	1.6	2.3	0.4	95.3

表39の様に4～9歳の年齢の時に習い始めている者が多い。母数が少ないので、絵画教室に関しては、すべての項目について、細かい分析は行なわない。

Q 4 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表40

		自分がやりたかった	親のすすめで	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	9	4	3	3	4	434
	%	2.0	0.9	0.7	0.7	0.9	95.0
全体	N	9	4	3	3	4	465
	%	1.8	0.8	0.6	0.6	0.8	95.3

表40の様に、自分がやりたかったが一番多く、他は差が無い。

Q 4 - 4. a. 習った事の影響－技術に関して－

表41

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	4	4	1	1	13	434
	%	0.9	0.9	0.2	0.2	2.8	95.0
全体	N	4	4	1	1	13	465
	%	0.8	0.8	0.2	0.2	2.7	95.3

表41の様に、好影響の数が、悪影響より多いが、影響無しが過半数を占める。

Q4-4. b. 習った事の影響－好きになる事に関して－

表42

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	3	8	—	2	10	434
	%	0.7	1.8	—	0.4	2.2	95.0
全体	N	3	8	—	2	10	465
	%	0.6	1.6	—	0.4	2.0	95.3

表42の様に、悪影響より好影響の方が数が多いが、影響無しも40%を越している。

Q4-4. c. 習った事の影響－感情が豊かになる事に関して－

表43

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	5	6	—	—	12	434
	%	1.1	1.3	—	—	2.6	95.0
全体	N	5	6	—	—	12	465
	%	1.0	1.2	—	—	2.5	95.3

表43の様に、好影響ばかりで、悪影響はない。ただ影響無しが、過半数ある。

Q4-4. d. 習った事の影響－集中力がつく事に関して－

表44

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	2	6	—	—	15	434
	%	0.4	1.3	—	—	3.3	95.0
全体	N	2	6	—	—	15	465
	%	0.4	1.2	—	—	3.1	95.3

表44の様に、好影響ばかりで、悪影響はない。ただ影響無しが、過半数ある。

Q 4 - 4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表45

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常におお らかになった	影響無し	N.A.
男	N	—	—	—	—	—	31
	%	—	—	—	—	—	100
女	N	—	—	3	—	20	434
	%	—	—	0.7	—	4.4	95.0
全体	N	—	—	3	—	20	465
	%	—	—	0.6	—	4.1	95.3

表45の様に、習った事で、逆におおらかになった者が数名で、他は影響無しであった。

Q 4 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表46

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	—	—	—	31
	%	—	—	—	100
女	N	2	8	13	434
	%	0.4	1.8	2.8	95.0
全体	N	2	8	13	465
	%	0.4	1.6	2.7	95.3

表46の様に、いいえが、はいより多く、またわからないが過半数を占める。

Q 4 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表47

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	—	—	—	31
	%	—	—	—	100
女	N	2	8	13	434
	%	0.4	1.8	2.8	95.0
全体	N	2	8	13	465
	%	0.4	1.6	2.7	95.3

表47の様に、全く前問の女の子と同様な結果であった。他の習い事とちがいは性差が認められない。

Q 5. あなたは、公文やその他の学習塾に通い、勉強を習いましたか？

表48

		はい	いいえ	N.A.
男	N	17	14	—
	%	54.8	45.2	—
女	N	282	173	2
	%	70.2	37.8	0.4
全体	N	299	187	2
	%	61.3	38.3	0.4

表48のように、女子の70.2%の者(10人に7人)が通っている。これは(前)の知育の所の、幼児教室、塾を合わせた値の比率3.0%の23倍以上になっている。これは、Q 1、2、3、の時と同じように、今回は、保育士志向の対象者であるという事と共に、この勉強を習うという事が、

(前)の調査の対象となりにくい、高年齢に多い事、また親が実際より寡少に報告する傾向の強い習い事である事などが、影響した為と考えられる。

Q 5-2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表49

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
男	N	—	—	5	12	14
	%	—	—	16.1	38.7	45.2
女	N	6	26	80	170	175
	%	1.3	5.7	17.5	37.2	38.3
全体	N	6	26	85	182	189
	%	1.2	5.3	17.4	37.3	38.7
(通)	%	2.1	9.2	28.4	60.3	

表49の(通)でみると、10～12歳が60.3%と一番多く、次が7～9歳の28.4%で、年少の4～6歳は9.2%、1～3歳は2.1%にすぎない。(前)の結果の対象児を大体6歳までと考えると、今回の結果は457名中の32名(7%)であり、(前)の比率3%の2倍強であった。この結果の背景の1つは、今回が保育士志向の学生を対象とした為があげられるし、また2つとして、(前)の結果は、親が実際より寡少の報告をしていた為だと考えられる。

表49の(通)でみると、10～12歳が60.3%と一番多く、次が7～9歳の28.4%で、年少の4～6歳は9.2%、1～3歳は2.1%にすぎない。(前)の結果の対象児を大体6歳までと考えると、今回の結果は457名中の32名(7%)であり、(前)の比率3%の2倍強であった。この結果の背景の1つは、今回が保育士志向の学生を対象とした為があげられるし、また2つとして、(前)の結果は、親が実際より寡少の報告をしていた為だと考えられる。

Q 5-3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表50

		自分がやりました	親のすすめ	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
男	N	3	10	—	4	—	14
	%	9.7	32.3	—	12.9	—	45.2
女	N	68	109	36	58	11	175
	%	14.9	23.9	7.9	12.7	2.4	38.3
全体	N	71	119	36	62	11	189
	%	14.5	24.4	7.4	12.7	2.3	38.7
(通)	%	24.1	38.7	12.8	20.6	3.9	

表50の(通)でみると、親のすすめでが38.7%で一番多く、次が自分がやりたかったが24.1%となっている。主な動機で、この様にはっきり親のすすめの方が、自分がやりたかったより多く出たのは、この勉強を習うのみであり、親の関わり方が、他の習い事と違う事が明らかになった。次に多いのが、友達がやっていたで20.6%、きょうだいがやっていたの12.8%で、最後がその他で3.9%であった。

Q5-4. a. 習った事の影響－勉強の成果に関して－

表51

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	1	9	2	—	5	14
	%	3.2	29.0	6.5	—	16.1	45.2
女	N	28	136	11	2	105	175
	%	6.1	29.8	2.4	0.4	30.0	38.3
全体	N	29	145	13	2	110	189
	%	5.9	29.7	2.7	0.4	22.5	38.7
(通)	%	9.9	48.2	3.9	0.7	37.2	

表51の(通)でみると、やや好影響が48.2%で半数に近く、非常に好影響が9.9%で、10人に1人という割合であった。この2つ、すなわちポジティブで考えているものが、58.1%いた。一方ネガティブに考えているのが合わせて4.6%で、20人に1人弱という割合であった。ただ影響無しが37.2% (10人中4人弱) いた。これを(前)の結果と関連させて考えると、幼児教室、塾の効果として、言語・文学効果、受験効果の両方から見ていくと、教室や塾に通わせている親44名中16名(36.4%)が効果ありと考えている。今回の子どもの評価が、これの約1.5倍高い評価を下している事がわかる。

Q5-4. b. 習った事の影響－勉強が好きになる事に関して－

表52

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	5	1	1	10	14
	%	—	16.1	3.2	3.2	32.3	45.2
女	N	5	75	26	10	166	175
	%	1.1	16.4	5.7	2.2	36.3	38.3
全体	N	5	80	27	11	176	189
	%	1.0	16.4	5.5	2.3	36.1	38.7
(通)	%	1.8	26.6	9.2	3.5	58.9	

表52の(通)でみると、やや好影響が26.6%、非常に好影響が1.8%で、ポジティブに考えている者が28.4%で、4人に1人強であった。これを前問の勉強の効果と

比較すると約半分で、効果は認めるが、勉強はそれ程好きになっていないという結果である。この事は、やや悪影響9.2 %、非常に悪影響3.5 %のネガティブな評価に表れている。また影響無しが58.9%で、半数以上にのぼった。

Q 5 - 4 . c . 習った事の影響－論理性、思考力などを高める事に関して－

表53

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	—	10	1	—	6	14
	%	—	32.3	3.2	—	19.4	45.2
女	N	7	98	5	—	172	175
	%	1.5	21.4	1.1	—	37.6	38.3
全体	N	7	108	6	—	178	189
	%	1.4	22.1	1.2	—	36.4	38.7
(通)	%	2.5	34.8	1.8	—	61.0	

表53の(通)でみると、やや好影響が34.8%、非常に好影響が2.5 %で、ポジティブに考えている者が37.3%であった。一方ネガティブに考えているのは1.8 %にすぎず、他の6割強が影響無しであった。この結果を前問の「勉強の成果」の結果と比較してみると、勉強の成果に関しての方が、論理性、思考力などを高める事に関してへの影響力より高い事がわかった。この事は、公文や学習塾が、勉強の成果ほど、論理性、思考力などを高めてはいない事を示すものである。

Q 5 - 4 . d . 習った事の影響－集中力がつく事に関して－

表54

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
男	N	1	5	1	—	10	14
	%	3.2	16.1	3.2	—	32.3	45.2
女	N	8	117	8	1	148	175
	%	1.8	25.6	1.8	0.2	32.4	38.3
全体	N	9	122	9	1	158	189
	%	1.8	25.0	1.8	0.2	11.5	38.7
(通)	%	2.8	41.5	2.8	0.4	52.5	

表54の(通)でみると、やや好影響が41.5%、非常に好影響が2.8 %で、ポジティブに考えている者が44.3%であった。一方ネガティブに考えているのは3.2 %にすぎなかった。ただ影響無しが52.5%と半数以上を示した。これを(前)の結果と関連させて考えると、幼児教室、塾の両方からみていく場合、教室と塾に通わせている親44名中7名(15.9%)が効果有りと考えている。今回の子どもの評価が、これの約2.8倍高い評価を下している。これは、今回の結果の対象年齢の多くが、集中力が増

す高い年齢であった事も1つの原因になっていると考えられる。

Q5-4. e. 習った事の影響—神経質になる事に関して—

表55

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常におお らかになった	影響無し	N. A.
男	N	—	4	—	—	13	14
	%	—	12.9	—	—	41.9	45.2
女	N	3	27	5	—	247	175
	%	0.7	5.9	1.1	—	54.0	38.3
全体	N	3	31	5	—	260	189
	%	0.6	6.4	1.0	—	53.3	38.7
(通)	%	1.1	9.6	1.8	—	87.6	

表55の(通)で見ると、やや神経質になったが9.6%、非常に神経質になったが1.1%で、ネガティブに考えている者が10.7%、10人に1人強の割合であった。一方ポジティブに考えているのは1.8%で、ほとんどの者が影響無しと答えている。これを(前)の結果と関連させて考えると、教室と塾に通わせている親44名中5名(11.4%)が、心身に悪影響があると思っている。今回の結果は、ほとんど同じ値で、親と子どもの評価が一致していると考えられる事が出来る。

Q5-4. f. 習った事の影響—仲間などの対人関係に関して—

表56

		今でも仲間作り が非常に下手	仲間作りが やや下手	仲間作りに 余り苦労しない	仲間作りに 全然苦労しない	影響無し	N. A.
男	N	1	3	—	1	12	14
	%	3.2	9.7	—	3.2	38.7	45.2
女	N	3	21	42	22	194	175
	%	0.7	4.6	9.2	4.8	42.5	38.3
全体	N	4	24	42	23	206	189
	%	0.8	4.9	8.6	4.7	42.2	38.7
(通)	%	1.1	7.4	14.9	7.8	68.8	

表56の(通)で見ると、仲間作りがやや下手が7.4%、非常に下手が1.1%で、8.5%の者が、仲間作りが下手だとネガティブに考えている。一方、仲間作りに余り苦労しないが14.9%、全然苦労しないが7.8%で、ポジティブに考えているのは22.7%である。ただ影響無しが68.8%にのぼっている。これを(前)の結果と関連させると、教室と塾に通わせている親44名中7名(15.9%)が、社会性が育つと思っている。今回の結果、これより少し高い値ではあるが、親と子どもの評価がほとんど一致していると考えられる事が出来る。

Q 5 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表57

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	3	5	9	14
	%	9.7	16.1	29.0	45.2
女	N	43	34	205	175
	%	9.4	7.4	44.9	38.3
全体	N	46	39	214	189
	%	9.4	8.0	43.9	38.7
(通)	%	15.2	12.1	72.7	

表57の(通)で見ると、はいが15.2%、いいえが12.1%で、ややはいが多いが、わからないが大多数をしめている。この結果は、前問のピアノなどの音楽系やスイミングなどと比べて、習わせるべきか、習わさないようにするか、はっきりした判断が出来ない者が多い事を示している。

Q 5 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表58

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	4	4	9	14
	%	12.9	12.9	29.0	45.2
女	N	54	35	193	175
	%	11.8	7.7	42.2	38.3
全体	N	58	39	202	189
	%	11.9	8.0	41.4	38.7
(通)	%	19.1	12.4	68.4	

表58の(通)で見ると、はいが19.1%、いいえが12.4%で、前問の女の子より、男の子に、はいと答えた者がいくらか多い。ただ、わからないが68.4%もいて、男の子に対しても、女の子と同様、はっきりした判断が出来ない者が多い。

Q 6. 他の習い事

表59

		習字	珠算	英会話	コーラス	サッカー	バスケットボール	剣道
全体	N	177	52	5	5	5	5	5
	%	36.3	10.7	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
		バレーボール	野球	硬筆	ソフトボール	拳法	日舞	民謡
全体	N	4	4	4	3	3	2	2
	%	0.8	0.8	0.8	0.6	0.6	0.4	0.4
		スキー	バトミントン	アイススケート	トランポリン	華道	料理教室	ペーパーフラワー教室
全体	N	1	1	1	1	1	1	1
	%	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
		作文	フルート	和太鼓	ダンス	リズムバンド		
全体	N	1	1	1	1	1		
	%	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		

表59のように、男女合わせた全体でみると、習字が36.3%（3人に1人以上）で一番多く、次が珠算が10.7%（10人に1人以上）で、それ以外は1%以下で非常に少ないが、非常に多岐にわたっている事がわかる。そこで、10%以上の習字と珠算だけについて、質問項目にしたがい見ていく。なお対象者が男女合わせた全体である事から、細かい分析はここでは行なわない。

〈習字〉

Q 6-2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表60

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
全体	N	—	61	90	25	1
	%	—	34.5	50.8	14.1	0.6

表60のように、7～9歳が50.8%で一番多く、次が4～6歳で34.5%、10～12歳は14.1%であった。

Q 6-3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

28

表61

		自分がやりたかった	親のすすめ	きょうだいがやっていた	友達がやっていた	その他	N.A.
全体	N	52	45	34	30	15	1
	%	29.4	25.4	19.2	16.9	8.5	0.6

表61のように、自分がやりたかったが29.4%が一番多く、次に親のすすめで25.4%、きょうだいがやっていたが19.2%、友達がやっていたが16.9%、その他が8.5%

%の順の動機になっている。

Q 6 - 4 . a . 習った事の影響－技術に関して－

表62

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	62	84	1	—	29	1
	%	35.0	47.5	0.6	—	16.4	0.6

表62のように、やや好影響が47.5%と一番多く、次に非常に好影響が35.0%と続く。影響無しは16.4%で、やや悪影響としたのは、0.6 %にすぎない。

Q 6 - 4 . b . 習った事の影響－好きになる事に関して－

表63

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	49	76	—	1	49	2
	%	27.7	42.9	—	0.6	27.7	1.1

表63のように、やや好影響が42.9%と一番多く、次に非常に好影響が27.7%と続く。影響無しは27.7%で、非常に悪影響としたのは0.6 %にすぎない。

Q 6 - 4 . c . 習った事の影響－感情が豊か、または身体が健康になる事に関して－

表64

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	11	36	—	—	128	2
	%	6.2	20.3	—	—	72.3	1.1

表64のように、やや好影響が20.3%で、非常に好影響は6.2 %であった。他の72.3%の者は影響無しと答えていた。

Q 6 - 4 . d . 習った事の影響－集中力がつく事に関して－

表65

		非常に好影響	やや好影響	やや悪影響	非常に悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	41	85	—	—	48	3
	%	23.2	48.0	—	—	27.1	1.7

表65のように、やや好影響が48.0%と一番多く、非常に好影響が23.2%である。影響無しは27.1%であった。

Q 6 - 4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表66

		非常に神経質 になった	やや神経質 になった	逆におおらか になった	逆に非常におお らかになった	影響無し	N.A.
全体	N	1	15	8	2	149	2
	%	0.6	8.5	4.5	1.1	84.2	1.1

表66のように、やや神経質になったが8.5 %、逆におおらかになったが4.5 %で、影響無しが84.2%と大多数を占めた。

Q 6 - 4. f. 習った事の影響－仲間などの対人関係に関して－

表67

		今でも仲間作り が非常に下手	仲間作りが やや下手	仲間作りに 余り苦労しない	仲間作りに 全然苦労しない	影響無し	N.A.
全体	N	2	6	24	12	124	9
	%	1.1	3.4	13.6	6.8	70.1	5.1

表67のように、余り苦労しないが13.6%、全然苦労しないが6.8 %、やや下手が3.4 %、非常に下手が1.1 %であった。ただ影響無しが70.1%あった。

Q 6 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表68

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	72	3	100	2
	%	40.7	1.7	56.5	1.1

表68のように、はいが40.7%、いいえが1.7 %で、わからないが56.5%あった。

Q 6 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表69

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	56	7	112	2
	%	31.6	4.0	63.3	1.1

表69のように、はいが31.6%、いいえが4.0 %で、わからないが63.3%あった。

〈珠算〉

Q 6 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

表70

		1～3歳	4～6歳	7～9歳	10～12歳	N.A.
全体	N	—	7	32	12	1
	%	—	13.5	61.5	23.1	1.9

表70のように、7～9歳が61.5%で一番多く、次が10～12歳の23.1%

で、4～6歳は13.5%であった。

Q 6 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

表71

		自分が やりたかった	親の すすめで	きょうだい がやっていた	友達が やっていた	その他	N.A.
全体	N	11	18	6	16	—	1
	%	21.2	34.6	11.5	30.8	—	1.9

表71のように、親のすすめでが34.6%で一番多く、次が友達がやっていたが30.8%となり、自分がやりたかったは21.2%で3番目の動機になっている。またきょうだい
がやっていたは11.5%で一番少ない。

Q 6 - 4. a. 習った事の影響—技術に関して—

表72

		非常に 好影響	やや 好影響	やや 悪影響	非常に 悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	17	22	—	—	12	1
	%	32.7	42.3	—	—	23.1	1.9

表72のように、やや好影響が42.3%と一番多く、次に非常に好影響が32.7%と続く。
影響無しは23.1%であった。

Q 6 - 4. b. 習った事の影響—好きになる事に関して—

表73

		非常に 好影響	やや 好影響	やや 悪影響	非常に 悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	8	25	2	—	16	1
	%	15.4	48.1	3.8	—	30.8	1.9

表73のように、やや好影響が48.1%と一番多い。非常に好影響は15.4%、やや悪影
響は3.8%で、影響無しが30.8%であった。

Q 6 - 4. c. 習った事の影響—感情が豊か、または身体が健康になる事に関して—

表74

		非常に 好影響	やや 好影響	やや 悪影響	非常に 悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	—	4	1	—	44	3
	%	—	7.7	1.9	—	84.6	5.8

表74のように、やや好影響が7.7%、やや悪影響が1.9%で、他は影響無しであった。

Q 6 - 4. d. 習った事の影響—集中力がつく事に関して—

表75

		非常に 好影響	やや 好影響	やや 悪影響	非常に 悪影響	影響無し	N.A.
全体	N	14	22	—	—	13	3
	%	26.9	42.3	—	—	25.0	5.8

表75のように、やや好影響が42.3%で一番多く、次が非常に好影響で26.9%、影響無しが25.0%であった。

Q 6 - 4. e. 習った事の影響－神経質になる事に関して－

表76

		非常に神経質になった	やや神経質になった	逆におおらかになった	逆に非常におおらかになった	影響無し	N.A.
全体	N	—	8	1	—	42	1
	%	—	15.4	1.9	—	80.8	1.9

表76のように、やや神経質になったが15.4%、逆におおらかになったが1.9 %で、他は影響無しであった。

Q 6 - 4. f. 習った事の影響－仲間などの対人関係に関して－

表77

		今でも仲間作りが非常に下手	仲間作りがやや下手	仲間作りに余り苦労しない	仲間作りに全然苦労しない	影響無し	N.A.
全体	N	—	3	7	5	32	5
	%	—	5.8	13.5	9.6	61.5	9.6

表77のように、余り苦労しないが13.5%、全然苦労しないが9.6 %、やや下手が5.8 %であった。ただ影響無しが61.5%あった。

Q 6 - 5. 将来自分の女の子に習わせるか？

表78

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	8	14	29	1
	%	15.4	26.9	55.8	1.9

表78のように、はいが15.4%、いいえが26.9%で、わからないが55.8%あった。

Q 6 - 6. 将来自分の男の子に習わせるか？

表79

		はい	いいえ	わからない	N.A.
男	N	7	13	31	1
	%	13.5	25.0	59.6	1.9

表79のように、はいが25.0%、いいえが13.5%で、わからないが59.6%あった。

IV. まとめ

32

本学児童福祉コースと傘下専門学校児童教育コースの学生、女子457名、男子31名を対象者（今回は主に女子学生を分析の対象にした）に、青年期になった現在、子どもの時期にどんな習い事をし、それが現在の自分にとどのような効果や影響をもたらしているか、評価してもらった。また、その結果と、14年前親を対象とした、習い事の良い点、悪い点の結果と、どの様な関係が見出されるかを調べ、子と親の評価のギャ

ップを見ようとした。その結果、以下の様な事が明らかになった。

1. 習い事の多い順から並べていくと、一位が公文や学習塾で70%、二位がピアノやエレクトーンの音楽教室で69%、三位がスイミング教室で55%、四位が体操・踊りのバレエ教室で14%、最後が絵画教室で5%であった。
2. 14年前の親の報告と比較してみると、子どもが実際通っている数の方が、親の報告より2~3倍多かった。これは今回の対象者が保育士志望で、幼い時から習い事に熱心な為か、質問の性格上、14年前の親が実際より寡少の報告をした為と考えられる。
3. 習い始めた年齢は、ピアノやエレクトーンの音楽教室や、体操・踊りのバレエ教室は、4~6歳頃が一番多く、公文や学習塾は10~12歳頃が一番多かった。またスイミング教室は、4~9歳にひろがっており、絵画教室は7~9歳が一番多かった。
4. 習うきっかけは、ピアノやエレクトーンの音楽教室や、絵画教室の情操面のものは、自分がやりたかったが一番多いが、公文や学習塾など知的面のものは、親のすすめでが一番多かった。また、スイミング教室や、体操・踊りのバレエ教室の身体運動面のものは、自分がやりたかったと、親のすすめでがほぼ同数で多かった。
5. 習った事での技術への影響をみてみると、ピアノやエレクトーンの音楽教室や、スイミング教室が約80%、体操・踊りのバレエ教室や公文や学習塾が約60%、好影響とポジティブな評価をしている。この評価を14年前の親の評価と比べてみると、ピアノやエレクトーンの教室がいくらか親の評価の方が高い以外、体操・踊りのバレエ教室や公文や学習塾の評価は、子どもの方が親より1.5倍前後高かった。
6. 習った事で好きになる事へのポジティブな影響をみてみると、スイミング教室が80%弱が一番高く、次がピアノやエレクトーン教室で70%、体操・踊りのバレエ教室が60%であるが、公文や学習塾は30%弱とかなり低かった。また前問の技術への影響より、この好きになる事への影響はかなり低い値を示した。
7. ピアノやエレクトーン教室への感情が豊かになる事へのポジティブな影響は60%であり、公文や学習塾の論理性、思考力などを高める事へのポジティブな影響は、30%弱であった。
8. スイミング教室や体操・踊りのバレエ教室が身体が健康になる事へのポジティブな影響は60~70%である。この評価を14年前の親の評価と比べてみると、スイミング教室はほぼ同じだが、体操・踊りのバレエでは、子どもの評価が親よりも約3倍高い。
9. 習った事で集中力がつく事へのポジティブな影響をみてみると、すべての習い事に対して30~50%の評価をしている。この評価を14年前の親の評価と比べてみると、最低でも2.8倍、最高は10倍以上も高く子どもの方が評価しており、

親はこの集中力が身につく事を見落としていたきらいがある。

10. 習った事で神経質になる事へのネガティブな影響をみると、スイミング教室や公文や学習塾では、10%前後で、14年前の親の評価と比べてみると、大体同じとなっている。しかし、ピアノやエレクトーン教室は20%弱、体操・踊りのバレエ教室は10%強である。これを14年前の親の評価と比べてみると、3～6倍高いネガティブの評価を子どもはしている事になる。この事は、親が考えている以上に、習い事によって子どもは神経質になっている事を示すものである。
11. 習った事で仲間作りが出来るなどポジティブな影響をみると、すべての習い事に対して20～30%の評価をしている。この評価を14年前の親の評価と比べてみると、1.5～4倍ぐらい高く子どもの方が評価している。これも親の期待以上に影響力を受けたものと考え事が出来る。
12. 全項目について、下は10%台から上は70%台まで、影響無しという評価がつけられた。この高い比率での影響無しの評価は、習い事に通う意味を問うものであり、早期教育の無意味さを示す資料でもある。
13. 女の子、男の子が生まれたら通わせるかについて、習い事の種類の種類と性差の関係をみたところ、ピアノやエレクトーン教室や、体操・踊りのバレエでは、女の子が、男の子より約3倍多く通わせたいという数が示された。一方、スイミング教室や、公文や学習塾では性差が無かった。
14. その他の習い事では、習字が大体3人に1人の割合で通って一番多く、次が珠算で大体10人に1人の割合で通っていた。また多岐にわたって習い事をしている事がわかった。

参考文献

1. 高橋種昭、萩原英敏ら 「現代児童の生活実態に関する研究」 日本総合愛育研究所 紀要 第23集 1987年
2. 横山さつきら 「保育系学生における早期教育に関する意識について－英文科学生および母親との比較を通して－」 日本保育学会第49回大会 1996年
3. J・S・ブルーナー著 佐藤三郎編訳 「教育革命」 明治図書 1971年
4. 無藤隆著 「早期教育を考える」 日本放送出版協会 1998年

資料1

幼児・児童期の習い事に対する、青年時の評価

この調査は、あなたが子どもの頃（大体1歳～12歳頃）にやっていた習い事について、今どのように考えているかを尋ねたものです。項目に沿って回答して下さい。（該当の・印に丸をつけて下さい）

回答者の性 ・男 ・女

Q1. あなたは、ピアノかエレクトーンを、教室に通い、習いましたか？

（・はい ・いいえ）

_____ 以下は、「はい」と答えた人のみ、回答して下さい。

Q1-2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

（・1～3歳 ・4～6歳 ・7～9歳 ・10～12歳）

Q1-3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

（・自分がやりたかった ・親のすすめで ・きょうだいがやっていた
 ・友達がやっていた ・その他）

Q1-4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？

a. ピアノやエレクトーンの技術に関して

（・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
 ・影響無し）

b. ピアノやエレクトーンが好きになる事に関して

（・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
 ・影響無し）

c. 感情が豊かになる事に関して

（・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
 ・影響無し）

d. 集中力がつく事に関して

（・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
 ・影響無し）

e. 神経質になる事に関して

（・非常に神経質になった ・やや神経質になった
 ・逆にややおおらかになった ・逆に非常におおらかになった
 ・影響無し）

f. 仲間などの対人関係に関して

（・一人で過ごす事が多くなり、今でも仲間作りが非常に下手だ
 ・仲間作りがやや下手だ ・逆に仲間作りには余り苦勞しない
 ・逆に仲間作りには全然苦勞しない ・影響無し）

Q1-5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれるなら、ピアノかエレクトーンを、習わせますか？

（・はい ・いいえ ・わからない）

Q 1 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれたら、ピアノかエレクトーンを、習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 2. あなたは、スイミング教室に通い、泳ぎを習いましたか？

(・はい ・いいえ)

以下は、「はい」と答えた人のみ、回答して下さい。

Q 2 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

(・1～3歳 ・4～6歳 ・7～9歳 ・10～12歳)

Q 2 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

(・自分がやりたかった ・親のすすめで ・きょうだいがやっていた
・友達がやっていた ・その他)

Q 2 - 4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？

a. 泳ぎの技術に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

b. スイミングが好きになる事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

c. 身体が健康になる事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

d. 集中力がつく事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

e. 神経質になる事に関して

(・非常に神経質になった ・やや神経質になった
・逆にややおおらかになった ・逆に非常におおらかになった
・影響無し)

f. 仲間などの対人関係に関して

(・一人で過ごす事が多くなり、今でも仲間作りが非常に下手だ
・仲間作りがやや下手だ ・逆に仲間作りには余り苦労しない
・逆に仲間作りには全然苦労しない ・影響無し)

Q 2 - 5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれたら、スイミングを、習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

36 Q 2 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれたら、スイミングを、習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 3. あなたは、体操教室か、踊りのバレエ教室に、通ったことがありますか？

(・はい ・いいえ)

以下は、「はい」と答えた人のみ、回答して下さい。

- Q 3 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？
(・ 1 ~ 3 歳 ・ 4 ~ 6 歳 ・ 7 ~ 9 歳 ・ 10 ~ 12 歳)
- Q 3 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？
(・ 自分がやりたかった ・ 親のすすめで ・ きょうだいがやっていた
・ 友達がやっていた ・ その他)
- Q 3 - 4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？
- a. 体育のいろんな種目や、バレエの技術に関して
(・ 非常に好影響 ・ やや好影響 ・ やや悪影響 ・ 非常に悪影響
・ 影響無し)
- b. 体育やバレエが好きになる事に関して
(・ 非常に好影響 ・ やや好影響 ・ やや悪影響 ・ 非常に悪影響
・ 影響無し)
- c. 身体が健康になる事に関して
(・ 非常に好影響 ・ やや好影響 ・ やや悪影響 ・ 非常に悪影響
・ 影響無し)
- d. 集中力がつく事に関して
(・ 非常に好影響 ・ やや好影響 ・ やや悪影響 ・ 非常に悪影響
・ 影響無し)
- e. 神経質になる事に関して
(・ 非常に神経質になった ・ やや神経質になった
・ 逆にややおおらかになった ・ 逆に非常におおらかになった
・ 影響無し)
- f. 仲間などの対人関係に関して
(・ 一人で過ごす事が多くなり、今でも仲間作りが非常に下手だ
・ 仲間作りがやや下手だ ・ 逆に仲間作りには余り苦労しない
・ 逆に仲間作りには全然苦労しない ・ 影響無し)
- Q 3 - 5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれるたら、体操か踊りのバレエを、習わせますか？
(・ はい ・ いいえ ・ わからない)
- Q 3 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれるたら、体操か踊りのバレエを、習わせますか？
(・ はい ・ いいえ ・ わからない)

Q 4. あなたは、絵画教室に通い、絵画などを習いましたか？

(・ はい ・ いいえ)

_____ 以下は、「はい」と答えた人のみ、回答して下さい。 37

- Q 4 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？
(・ 1 ~ 3 歳 ・ 4 ~ 6 歳 ・ 7 ~ 9 歳 ・ 10 ~ 12 歳)
- Q 4 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？
(・ 自分がやりたかった ・ 親のすすめで ・ きょうだいがやっていた
・ 友達がやっていた ・ その他)

Q 4 - 4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？

a. 絵画の技術に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

b. 絵画が好きになる事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

c. 感情が豊かになる事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

d. 集中力がつく事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

e. 神経質になる事に関して

(・非常に神経質になった ・やや神経質になった
・逆にややおおらかになった ・逆に非常におおらかになった
・影響無し)

Q 4 - 5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれたら、絵画を、習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 4 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれたら、絵画を、習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 5. あなたは、公文やその他の学習弱に通い、勉強を習いましたか？

(・はい ・いいえ)

_____ 以下は、「はい」と答えた人のみ、回答して下さい。

Q 5 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

(・1~3歳 ・4~6歳 ・7~9歳 ・10~12歳)

Q 5 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

(・自分がやりたかった ・親のすすめで ・きょうだいがやっていた
・友達がやっていた ・その他)

Q 5 - 4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？

a. 勉強の成果に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

b. 勉強が好きになる事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

c. 論理性、思考力などを高める事に関して

(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

- d. 集中力がつく事に関して
(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)
- e. 神経質になる事に関して
(・非常に神経質になった ・やや神経質になった
・逆にややおおらかになった ・逆に非常におおらかになった
・影響無し)
- f. 仲間などの対人関係に関して
(・一人で過ごす事が多くなり、今でも仲間作りが非常に下手だ
・仲間作りがやや下手だ ・逆に仲間作りには余り苦勞しない
・逆に仲間作りには全然苦勞しない ・影響無し)

Q 5 - 5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれたら、学習塾に行かせ、勉強を習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 5 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれたら、学習塾に行かせ、勉強を習わせますか？

(・はい ・いいえ ・わからない)

Q 6. 以上以外の習い事で、あなたがやったものに、何かありますか？ もし有ったら一つだけ上げて下さい。

具体名 ()

Q 6 - 2. それは、何歳頃から習い始めましたか？

(・1～3歳 ・4～6歳 ・7～9歳 ・10～12歳)

Q 6 - 3. 習うきっかけになった、主な動機は何ですか？

(・自分がやりたかった ・親のすすめで ・きょうだいがやっていた
・友達がやっていた ・その他)

Q 6 - 4. 習った事が、今のあなたにどう影響していると思いますか？

- a. その技術に関して
(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)
- b. それが好きになる事に関して
(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)
- c. 感情が豊か、または身体が健康になる事に関して
(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)
- d. 集中力がつく事に関して
(・非常に好影響 ・やや好影響 ・やや悪影響 ・非常に悪影響
・影響無し)

e. 神経質になる事に関して

- (・非常に神経質になった ・やや神経質になった
- ・逆にややおおらかになった ・逆に非常におおらかになった
- ・影響無し)

f. 仲間などの対人関係に関して

- (・一人で過ごす事が多くなり、今でも仲間作りが非常に下手だ
- ・仲間作りがやや下手だ ・逆に仲間作りには余り苦労しない
- ・逆に仲間作りには全然苦労しない ・影響無し)

Q 6 - 5. 将来の事で、もし自分に女の子が生まれたら、それを習わせますか？

- (・はい ・いいえ ・わからない)

Q 6 - 6. 将来の事で、もし自分に男の子が生まれたら、それを習わせますか？

- (・はい ・いいえ ・わからない)